

第 1 期熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略の進捗状況 (H27-R1)

熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会資料

令和 3 年 3 月 29 日

○本資料は、第1期総合戦略（H27-R1）における「数値目標・KPI」及び「主な取組」の報告資料です。

○昨年度、本検証委員会における第2期総合戦略策定に向けた検討の際、H27-30の数値目標・KPIの実績値や主な取組について評価・検証を実施いたしました。

○今回、本資料によってR1年度の実績をご報告させていただきます。

○また、数値目標・KPIについては、第2期総合戦略におけるR5の目標値をあわせて記載しております。

○R2年度より、第2期総合戦略に基づき、R5の目標値を達成するよう取組を推進してまいります。

※R2年度以降の取組内容については、【参考資料】第2期「熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略」をご参照下さい。

※本資料におけるグラフについて、各年度の実績として（ ）内の年度のデータを用いている項目もあります。

【施策体系図】

基本目標 1

国内外から人々を引き付けるまちを創り、安心して働くことができる雇用を生み出す。
～移住・定住の促進と交流の活発化～

(1) 雇用（しごと）の場の拡大と雇用の質の向上

(2) 農水産業の振興

(3) 人材育成の支援と移住定住の促進

(4) 交流人口の拡大

基本目標 2

安心して子どもを産み育てられるまちを実現する。
～少子化の克服と次世代育成～

(1) 結婚・妊娠・出産支援の推進

(2) 子ども・子育て支援の充実

(3) 仕事と子育ての両立支援と若者の経済的安定

基本目標 3

多様な地域が形成され、安心して暮らせる地域社会を実現する。
～地域の特性に応じた社会環境の創出～

(1) 「多核連携都市」の実現に向けた公共交通網の充実及び既存ストックの利活用

(2) 安心して暮らせるまちづくりの推進

- 1 数値目標・KPIについて
- 2 主な取組の紹介



【第1期戦略の検証】 ※第2期総合戦略から抜粋

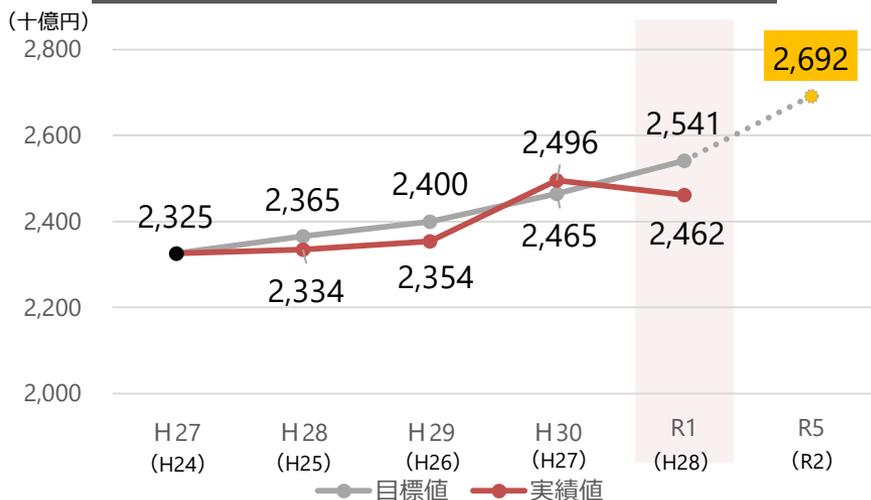
○「市内総生産額」と「年転入超過数」を数値目標として掲げて取組を推進。

○「市内総生産額」については、H27年度までは増加傾向にあったものの、熊本地震の影響により、R1年度での目標値（H28実績値）は達成に至っていない。

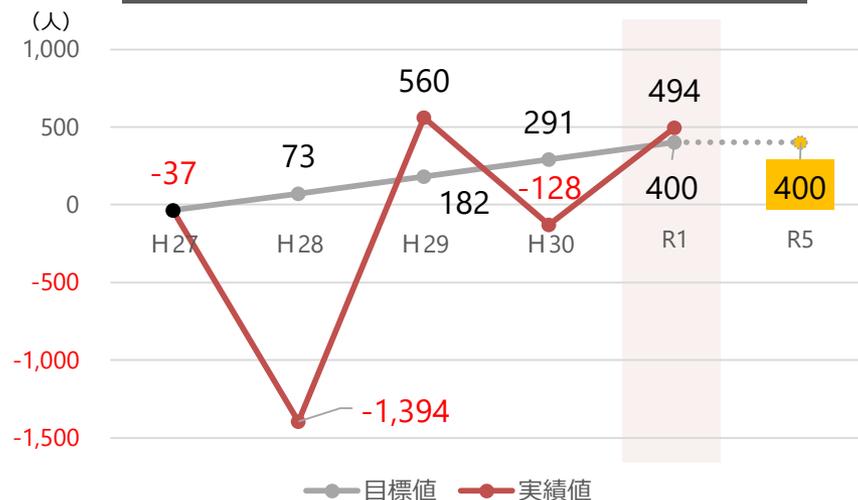
○「年転入超過数」については、H28年に1,394人の転出超過、H29年に560人の転入超過、H30年に128人の転出超過、R1年に494人の転入超過となっており、復興需要による雇用の増減など熊本地震の影響が大きく表れていると見料。

【第1期総合戦略における数値目標の推移】

市内総生産額



年転入超過数

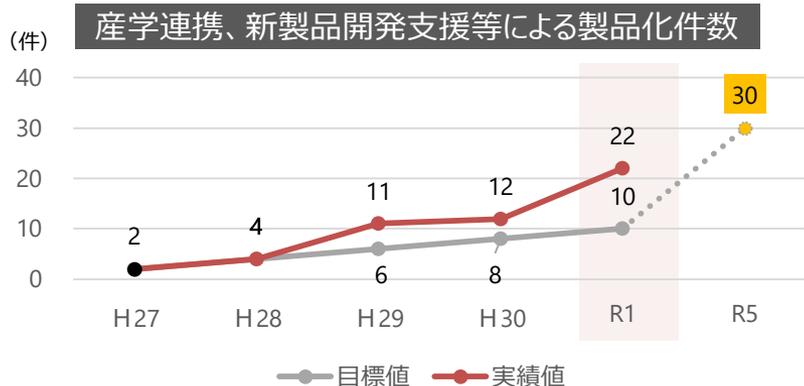
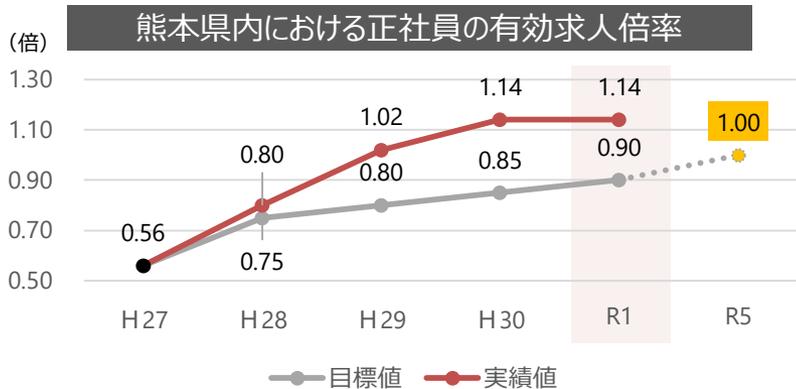


【各取組におけるKPIの推移】

(1) 雇用（しごと）の場の拡大と雇用の質の向上

施策

- ① 新事業の創出支援・地場企業の活性化支援により地域産業の競争力強化を図ります。
- ② 企業にとって魅力的な環境を整備し、本市に活力を与える企業の誘致を推進します。
- ③ 男女がともに個性や能力を発揮できる職場環境を整備します。

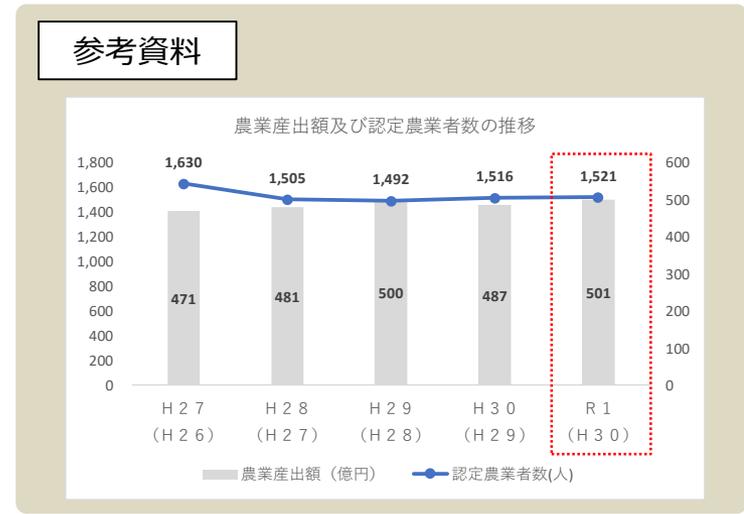
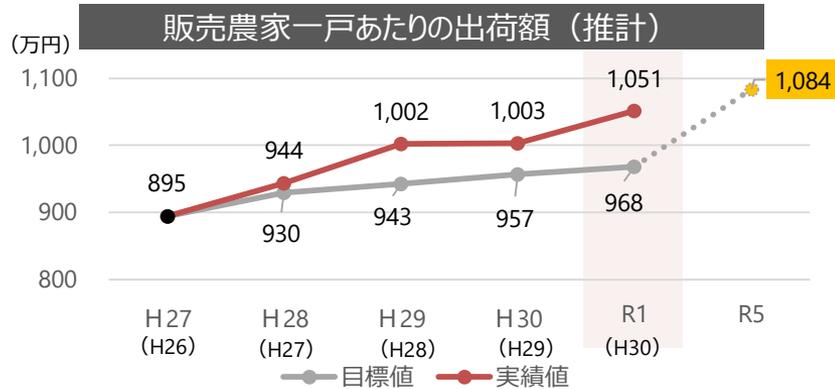


【各取組におけるKPIの推移】

(2) 農水産業の振興

施策

- ① 園芸農業等の地域の特性を活かした農業及び稼げる畜産・水産業を推進します。
- ② 経営体の強化及び生産基盤の整備・保全を推進します。
- ③ 生産者と消費者の交流を拡大し、6次産業化・農商工連携を推進します。

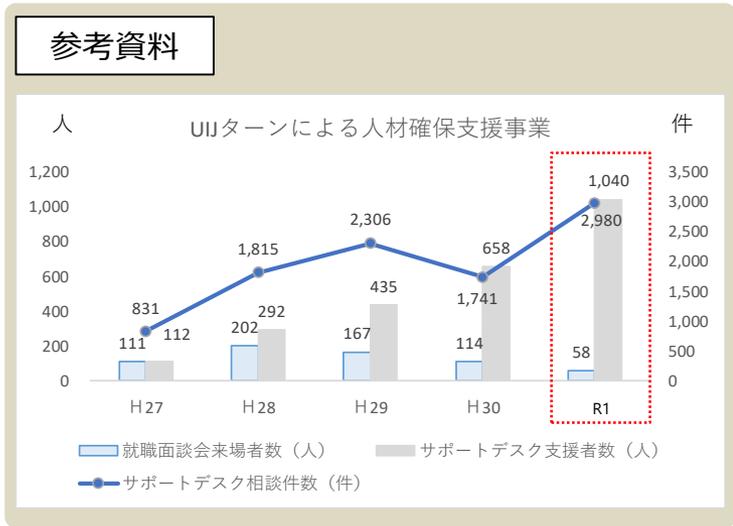
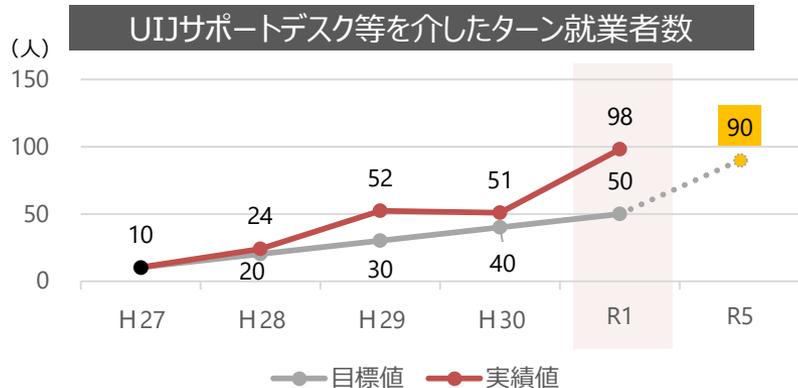


【各取組におけるKPIの推移】

(3) 人材育成の支援と移住定住の促進

施策

- ① 地域人材を育成し、定着を図ります。
- ② 地方移住希望者への支援体制を強化します。

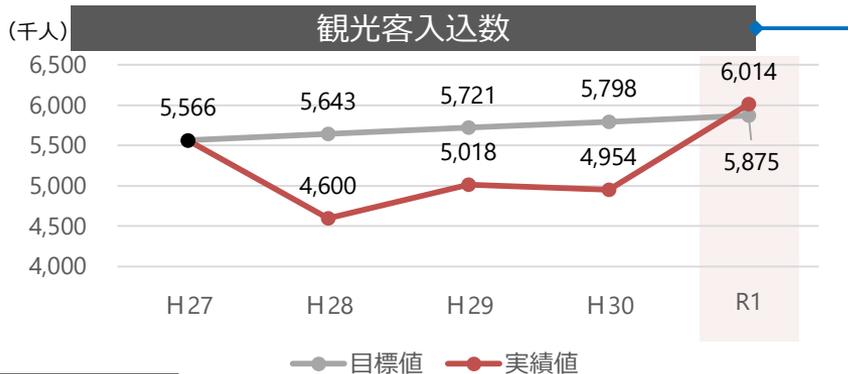


【各取組におけるKPIの推移】

(4) 交流人口の拡大

施策

- ① 中心市街地の活性化と回遊性の向上を図ります。
- ② 国内外からの観光客誘致を図ります。
- ③ 時代のニーズに合った、都市の新たな魅力を発信します。
- ④ 歴史・文化・スポーツによる地域活性化に取り組みます。

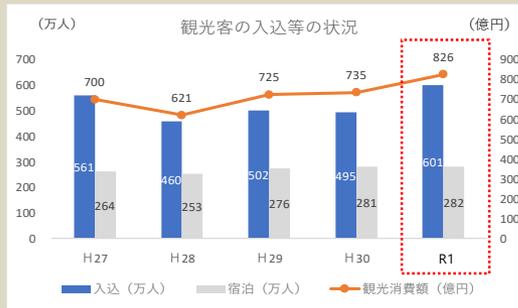
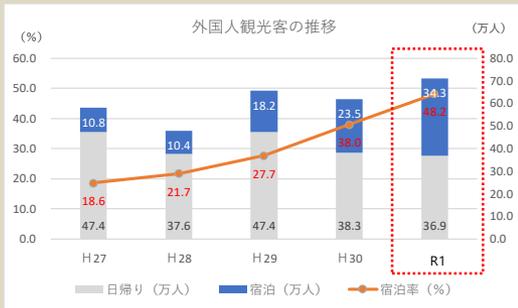
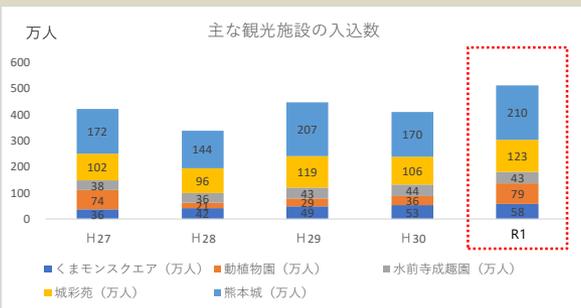


● 第2期総合戦略におけるKPI

R1年度における第2期総合戦略の策定において、本取組におけるKPIを観光消費額に変更

	基準値 H30 (2018)	目標値 R5 (2023)
観光消費額	735	852

参考資料





【第1期戦略の検証】 ※第2期総合戦略から抜粋
 ○「出生数」を数値目標として掲げて取組を推進。
 ○R1年の目標値に対し、6,293人（R1年実績値）と目標値は達成に至っていない。
 ○全国的な傾向と同様に、生活スタイルの多様化、女性の就業率の増加、結婚や家族に対する価値観の変化などによる未婚化・晩婚化など複雑化した課題が要因と史料。

【第1期総合戦略における数値目標の推移】

【参考】15-49歳の女性の人口数推移

※15-49歳は合計特殊出生率の算出に反映される女性の年齢



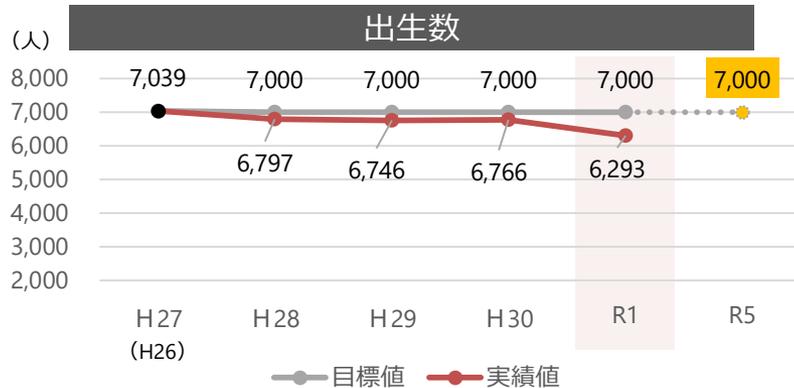
年齢	H27	H28	H29	H30	R1	(R1-H27)	増減割合
15-49歳	159,991	158,776	156,982	155,245	153,596	-6,395	-4.00%

【各取組におけるKPIの推移】

(1) 結婚・妊娠・出産支援の推進

施策

- ① 若者の結婚・出産の希望をかなえるための支援を行います。
- ② 妊娠・出産に関する相談・情報提供の充実及び経済的負担軽減を図ります。
- ③ 総合周産期母子医療をはじめ、地域の医療体制の充実を図ります。



【各取組におけるKPIの推移】

(2) 子ども・子育て支援の充実

施策

- ① 地域における子育て支援を充実します。
- ② 保育サービス及び幼児教育を充実します
- ③ 放課後児童対策を推進します。
- ④ 子ども・青少年の健全育成を推進します。
- ⑤ 子ども一人ひとりを大切にする教育を推進します。



【未達成項目の課題・検証等】

登園に無理がない範囲の保育所等に受け入れがなかったこと等によって待機児童が発生した。今後はさらにきめ細かな支援、保育所等とのマッチングを行い待機児童ゼロを目指す。

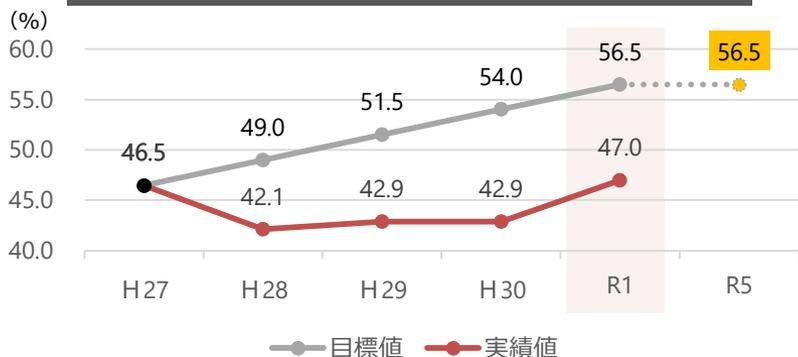
【各取組におけるKPIの推移】

(3) 仕事と子育ての両立支援と若者の経済的安定

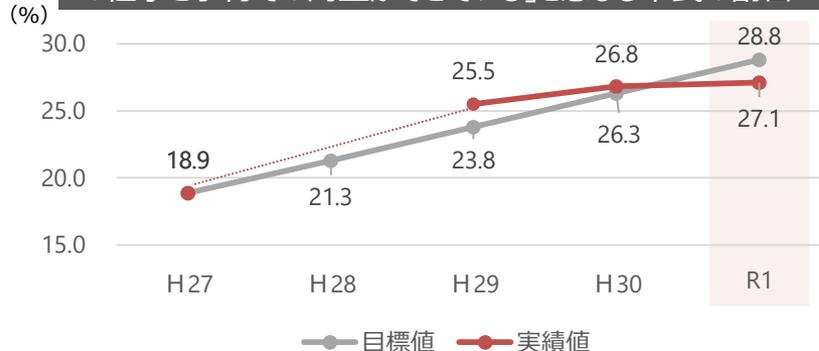
施策

- ① 子育てしやすい職場環境づくりを支援するなど仕事と子育ての両立を図ります。
- ② 雇用の安定を図り、特に就労環境が不安定な若年層の雇用の場の確保や就労支援を充実します。

新規学卒者（大学）の県内定着率



「仕事と子育ての両立ができている」と感じる市民の割合



【未達成項目の課題・検証等】

新規学卒者の定着率は依然として目標には達していないものの、今後は新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークが普及したことや、大都市などの人口密集地を回避する動きが見られ、増加することが期待される。

【未達成項目の課題・検証等】

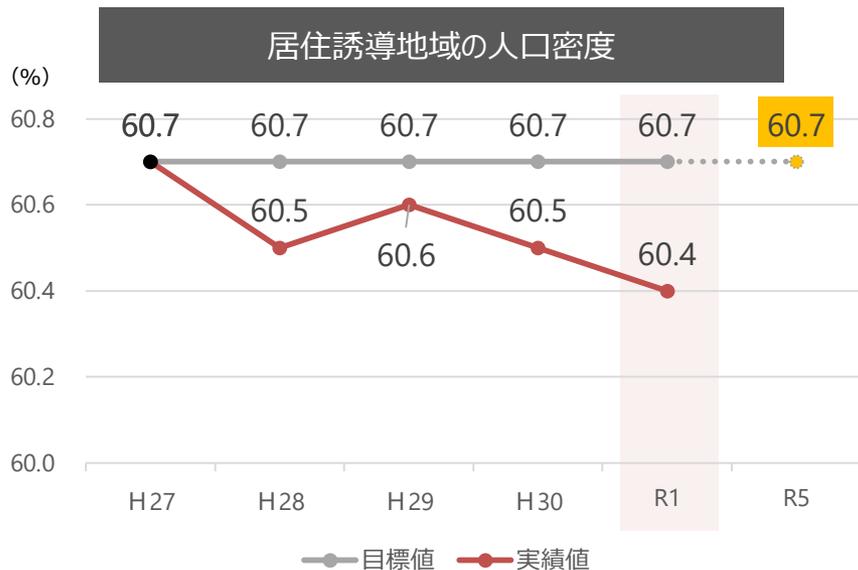
子育てしやすい職場環境整備の促進を図る「子育て支援優良企業認定事業」や、保育施設の利用支援を継続してきているが、本KPIの増加は鈍化しており、令和元年度は目標値を下回った。今後は、子育て支援優良企業認定事業のさらなる周知や、保育施設利用に向けたきめ細かな支援を実施することで、仕事と子育ての両立を支援していく。



【第1期戦略の検証】 ※第2期総合戦略から抜粋

- 「居住誘導区域の人口密度」と「地域活動に参加した市民の割合」を数値目標として掲げ、取組を推進。
- 「居住誘導区域の人口密度」については、H28年度以降、目標値に達しておらず、R1年度においても目標達成に至っていない。これは、熊本地震の影響による市外への転出や人口の自然減、土地価格がより安価な郊外部への転居などが要因と史料。
- 「地域活動に参加した市民の割合」は、H28年度以降微増しており、これは熊本地震後の復旧・復興活動などにより、市民の地域活動への参加の機運が醸成されたことが大きな要因と史料。

【第1期総合戦略における数値目標の推移】

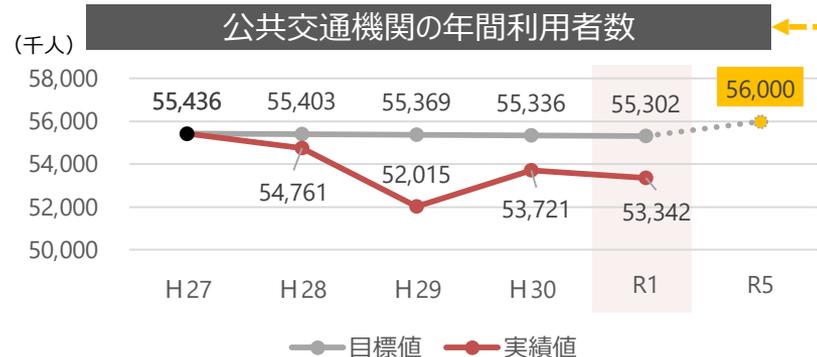
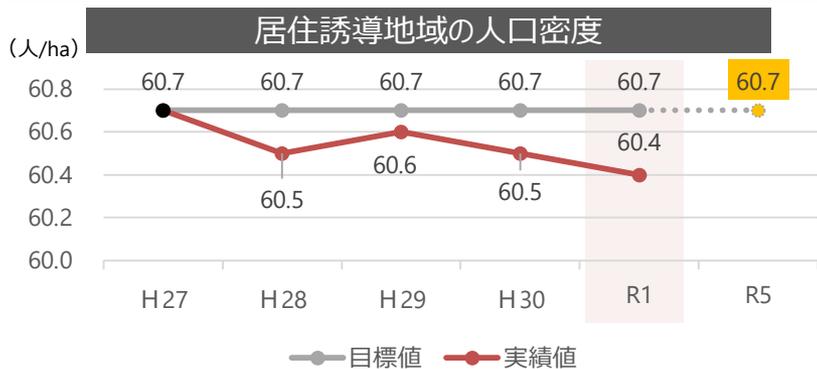


【各取組におけるKPIの推移】

(1) 「多核連携都市」の実現に向けた公共交通網の充実及び既存ストックの利活用

施策

- ① 公共交通ネットワークを充実させ、利便性の向上を図ります。
- ② 災害に強い都市基盤を形成します。
- ③ 増加する空き家の対策や住宅性能の向上などの支援により、良好な居住環境の形成を図ります。
- ④ 公共施設などの統廃合や集約化により資産の適正化を図るとともに、適切な維持管理体制を構築します。



【未達成項目の課題・検証等】

1970年代以降、自家用車の利用者数が増加することに伴い、公共交通機関の年間利用者数は減少傾向にある。加えて、熊本地震以降、バスの乗務員不足が加速し、バス路線の大幅な減便や路線の廃止が続いており、減少傾向が継続している。今後も利用促進に力を入れていく必要があるものの、現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって公共交通機関の利用者が大幅に減少しており、利用者数の回復、増加に向けて効果的な施策展開が必要である。

【各取組におけるKPIの推移】

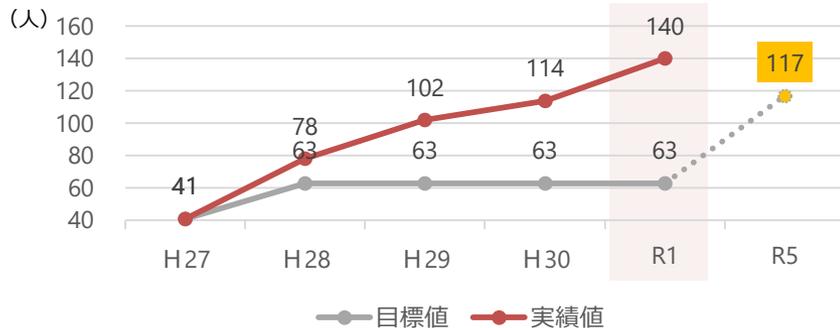
(2) 安心して暮らせるまちづくりの推進

施策

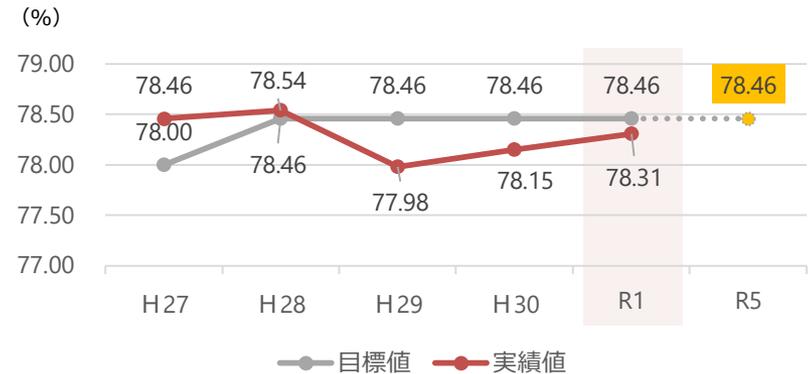
- ① 地域の魅力や特性を生かしたまちづくりを推進するとともに、地域のまちづくり活動の支援を充実します。
- ② 高齢者や障害者が豊かに暮らせるまちづくりを推進します。



就労移行支援事業所などを通じて一般就労した障害のある人の数



65歳以上の元気な高齢者の割合



【未達成項目の課題・検証等】

住民主体の介護予防活動の促進や、自立支援・重度化防止に向けた取組を推進した結果、平成30年度に比べ令和元年度の割合は上昇し、目標値に対して順調に推移している。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域における高齢者の活動量が低下する等、今後、要介護状態となるリスクが高まることなどが危惧されることから、自宅でもできる介護予防の取組の周知啓発を行うとともに、新たな生活様式を取り入れた地域の介護予防活動を支援するなど、将来の介護リスクの低減に向けた対応を実施する。

- 1 数値目標・KPIの検証
- 2 主な取組の紹介

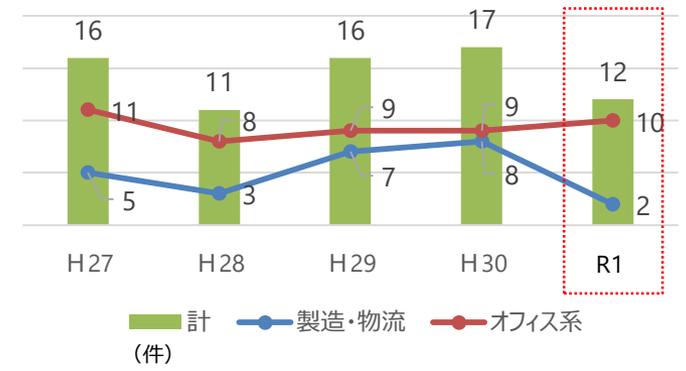
企業立地促進事業 <施策(1)>

◆ 概要

企業立地促進条例に基づく優遇制度を活用し、本市への企業立地を促進することにより、市民の雇用機会の増大を図る。



市域の新規投資 コールセンター・BPOセンター



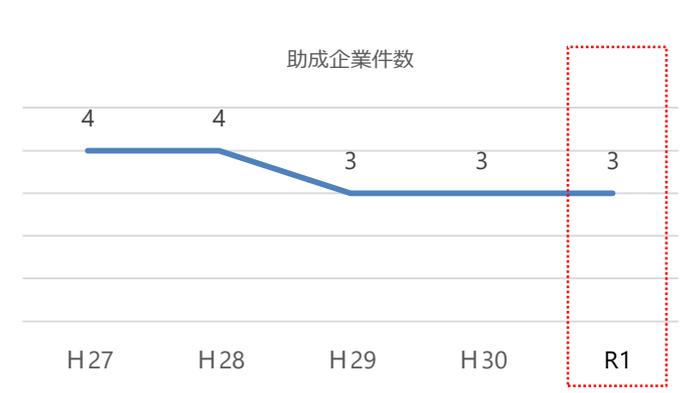
新製品・新技術研究開発助成事業 <施策(1)>

◆ 概要

中小製造業者等が行う新製品・新技術等の研究開発に係る経費の一部を助成することにより、独自の優れた製品・技術を持つ企業の育成を図る。



卓上型組み合わせ計量器 農業用天敵昆虫給餌器
研究開発助成により完成した製品例



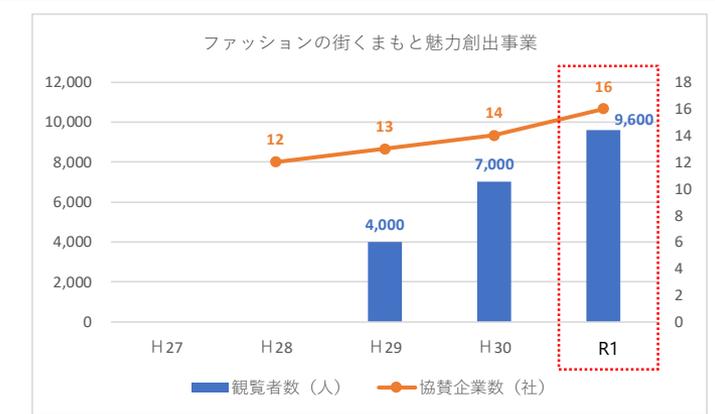
ファッションの街くまもと魅力創出事業 <施策(1)>

◆ 概要

中心商店街（アーケード内）の特設ステージなどで、地元店舗や専門学校生による、ファッションで街を元気にするためのイベントを開催。



まちなかコレクションinKUMAMOTO



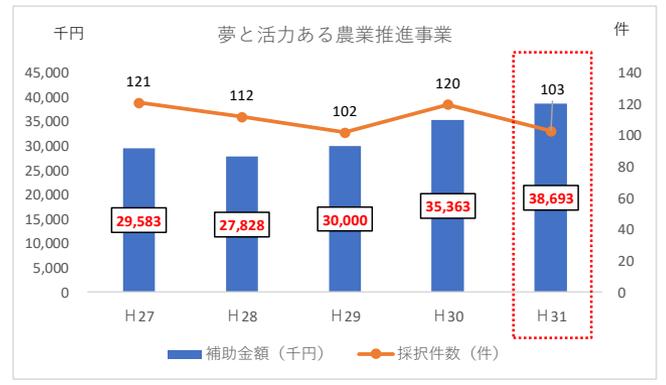
夢と活力ある農業推進事業 <施策(2)>

◆概要

各区の特性を活かした生産や流通に対する多様な取組みをきめ細やかに支援し、地域農業の振興と農業経営の安定・所得の向上を図る。



事業により導入したブームスプレーヤーを用いた、大規模水田における効率的な防除作業の様子



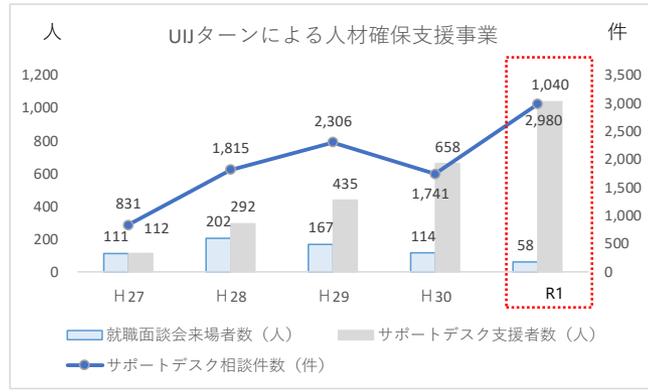
UIJターンによる人材確保支援事業 <施策(3)>

◆概要

県外へ進学・就職した若者と地場企業との合同就職面談会の開催、並びにUIJターンサポートデスクへの登録者数の拡大を図る。



UIJターン合同就職面談会 サポートデスク窓口



★ 地方創生推進交付金活用事業

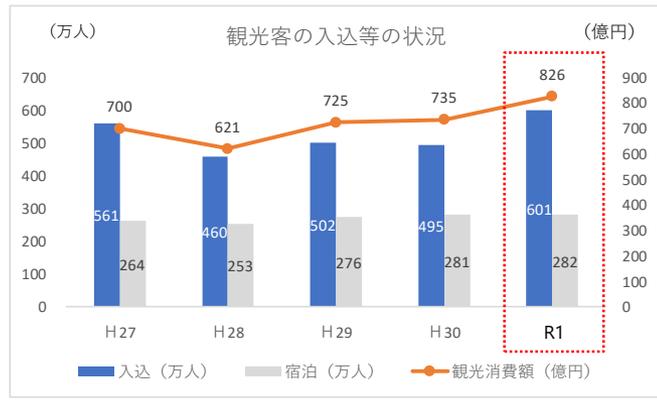
国内外からの観光客の誘致 <施策(4)>

◆概要

震災からの再生を積極的にアピールするため、国内外に向けた観光プロモーションを実施。



国内外での観光プロモーションの様子



★ 地方創生推進交付金活用事業

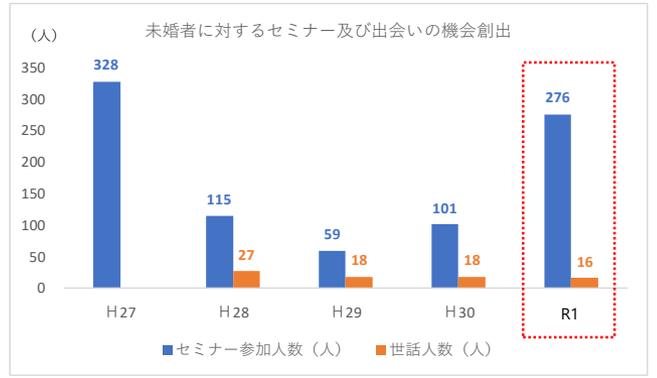
未婚者に対するセミナー及び出会いの機会創出 <施策(1)>

◆概要

未婚者に対する結婚から子育てに関する情報提供や出会いの機会の創出に繋がるセミナー・パーティーを行う。また、恋愛や結婚を後押しする身近な結婚世話人ボランティアによる独身者の出会いの機会づくりを行う。



未婚者に対するセミナー



妊娠に関する悩み相談事業 <施策(1)>

◆概要

妊娠悩み相談員を配置し、妊娠に関する悩み、経済面・育児面等の不安など多岐にわたる相談に対し、24時間365日体制で対応する。また、各区保健子ども課・福祉課でも相談を行う。

妊娠したけど どうしたいの？

妊娠・出産に関する悩み相談

あなたとおなかの赤ちゃんや子どもがより良い生活が送れるように一緒に考え 必要な方法を探しましょう

相談専用電話：080-9068-7528 (熊本乳児院内) 24時間年中無休
mail:kumamotoyujin_soudanshientezweb_ne.jp

産前・産後母子支援事業

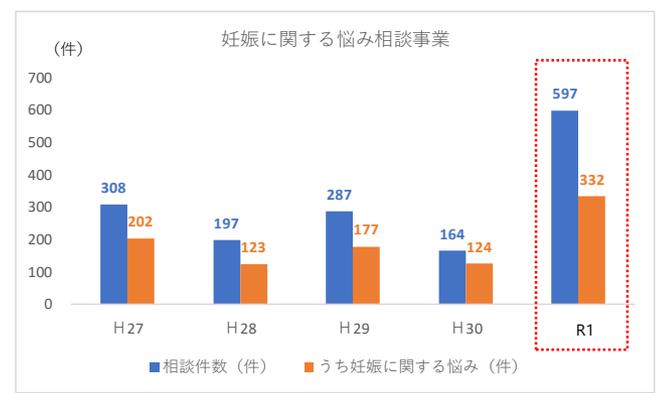
どんな相談ができるの？

- 妊娠、出産の悩みに関する電話相談(24h対応)
- 母子の将来設計や住まいの確保、家事など日常生活上の援助、就業支援相談、
- 特別養子縁組希望相談等。

★あなたの秘密は守ります。
・ひとりで悩まず、まずは話してみませんか。

熊本市 Kumamoto City

相談窓口の案内カード



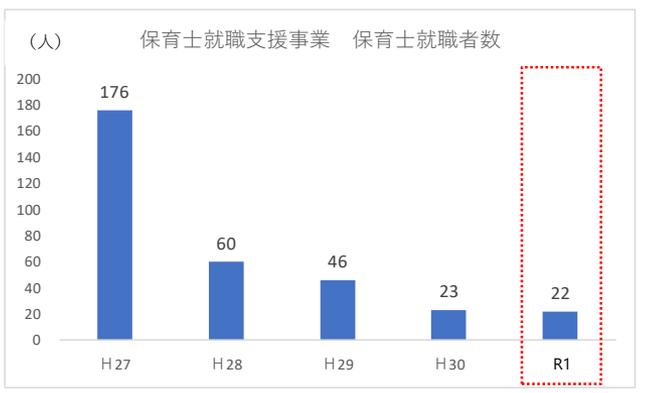
保育士就職支援事業 <施策(2)>

◆概要

保育士等の就職支援業務委託及びコーディネーター配置を実施する。



保育士フォローアップ研修会



利用者支援専任チーム関連 <施策(2)>

◆概要

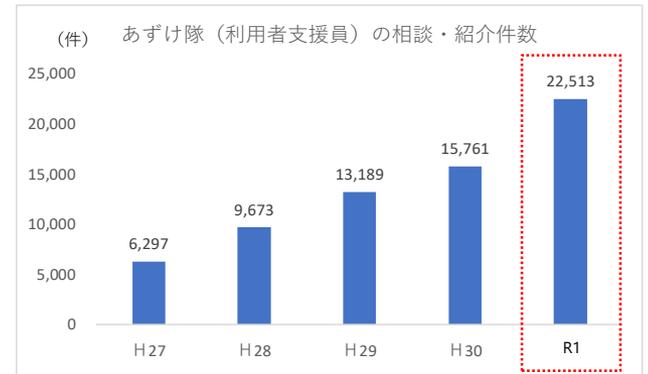
利用者の個別ニーズの把握と、円滑な保育施設利用に向けた支援を行うとともに、利用調整会議の定期的な開催をとおして行政区間の情報共有と利用希望者に対する全市的な対応を行うことで、待機児童対策の柱としている入所業務の改善を図る。



あずけ隊マスコットキャラクター あずけ隊の具体的な活動

あずけ隊(利用者支援員)の仕事

- ① 保育所・認定こども園などの空き情報の紹介
- ② 保育所等に入所できなかった方や障がいなど特別な配慮が必要な方、転園希望の方などの個別ニーズに応じた保育施設の紹介
- ③ 保育サービスの利用に関する相談



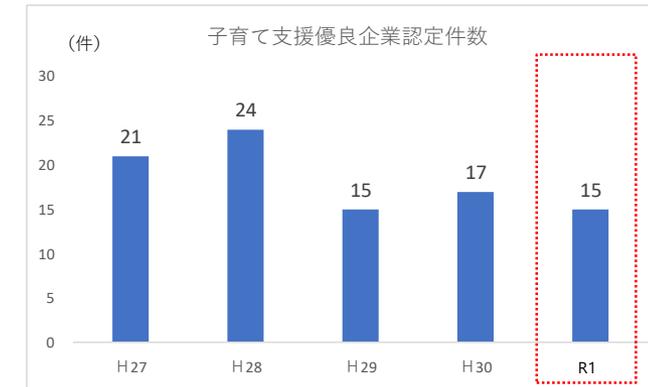
子育て支援優良企業認定事業 <施策(3)>

◆概要

企業等における子育てしやすい職場環境の整備促進を図るため、従業員のワークライフバランスの充実に取り組む企業を「子育て支援優良企業」として認定し公表することで、社会全体の機運醸成に繋げる。



認定式



地場企業PR事業 <施策(3)>

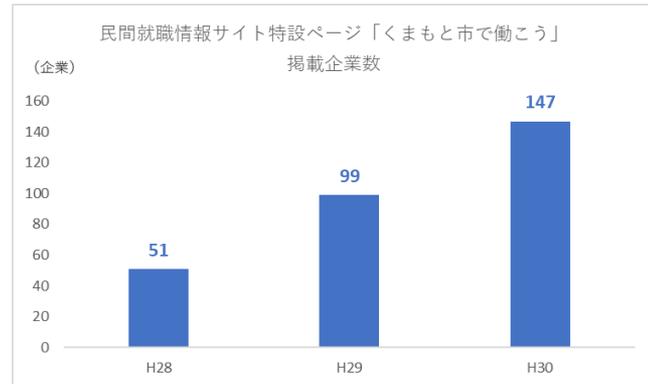
◆概要

魅力的な労働環境整備等に取り組む地場企業の情報発信を行う。

※R1より民間運営に移行



民間就職情報サイト特設ページ「くまもと市で働こう」トップページ



★ 地方創生拠点整備交付金活用事業

公共交通ネットワークの充実に向けた取組 <施策(1)>

◆概要

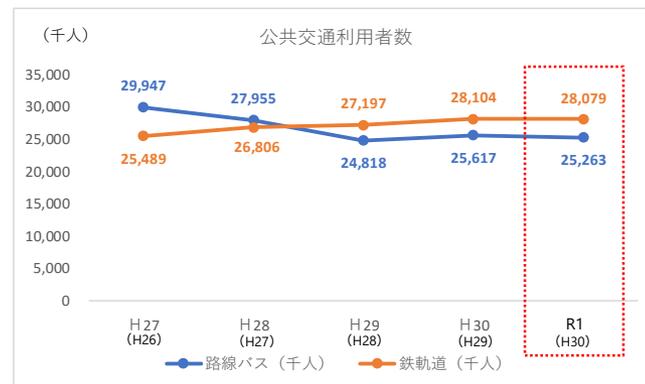
路線バスへの運行補助や熊本電気鉄道の輸送設備の整備等に対する補助を行うことで、市民の生活に必要な交通手段の維持・確保を図る。また、公共交通ネットワークの充実に向け、バス路線網再編や市電路線延伸に向けた検討を行う。



路線バス運行



熊本電気鉄道運行



公共交通利用促進啓発 <施策(1)>

◆概要

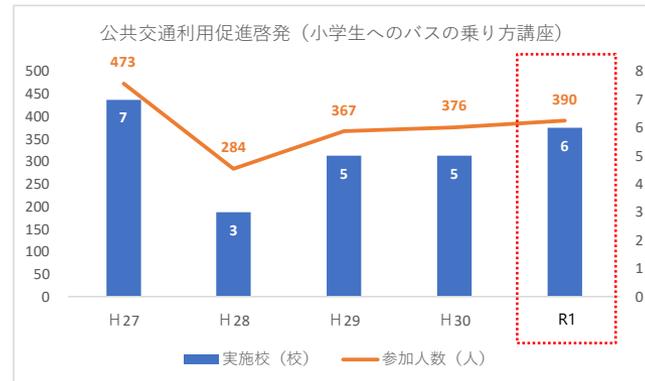
公共交通機関への利用促進を図るため、小学生を対象にしたバスの乗り方講座の開催や、公共交通機関利用促進キャンペーンなどを実施する。



バスの乗り方講座



利用促進キャンペーン



町内自治振興育成 <施策(2)>

◆概要

町内自治会に対する財政支援や研修会などを実施するとともに、加入促進に取り組み、町内自治会活動の支援を行う。



町内一斉清掃



自治会管理のLED防犯灯

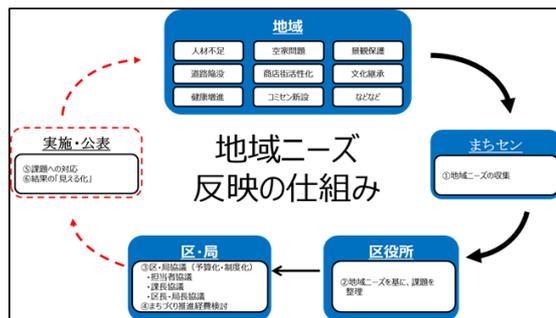


地域ニーズ反映の仕組み <施策(2)>

◆ 概要

まちづくりセンター等が把握した様々な地域ニーズ・課題等に対応し、地域ニーズ反映の仕組みを構築し、全庁的に地域課題解決に向けた取り組みを進める。

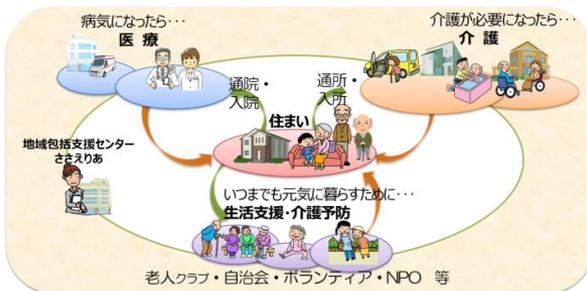
地域ニーズ反映の仕組み概念図 ▶



地域包括支援センター運営事業 <施策(2)>

◆ 概要

高齢者の心身の健康の保持や生活の安定を図るとともに、地域の保健医療の向上及び福祉の増進ため、市内27の日常生活圏域に高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センター（高齢者支援センターささえりあ）を設置し、包括的な援助・支援を行う。



地域包括ケアシステムの姿



※H30から単なる問い合わせや連絡調整等の件数を除外

熊本市西部地域産業振興・まちづくり拠点整備事業 <施策(2)>

◆ 概要

地域の農産物の展示・販売を行う販売所や温浴施設のほか、地域住民が参画し、地元農家による販売所での地域産品の検討・開発、観光施策の検討、新規就農者等の育成等に活用することが可能な多目的室などの複合的な機能を有した施設を整備する。



西部交流センター外観イメージ

★ 地方創生拠点整備交付金活用事業

